

構成員からの御意見・御提言

(令和5年度盛岡広域振興局主要施策の推進状況及び令和6年度の取組方向について)

(「地域振興プラン」における重点施策項目順)

振興施策の 基本方向	重点施策 項目	整理 番号	構成員氏名 (主な担当分野)	該当 資料	御意見・御提言	回答担当
Ⅰ 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域	1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります	－			御意見等なし	
	2 豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります	－			御意見等なし	
	3 歴史と文化を継承しながら、新たなつながりや活力を感じられる地域づくりを進めます	－			御意見等なし	
	4 過去の教訓を踏まえた防災対策を進めます	4－①	荒屋敷 武則構成員 (防災)	資料2 P9～11 資料3 P3	それぞれの項目において「契約済」「〇月契約済」「発注済」「入札公告済」など、進捗が見られます、既にご承知のことと存じますが、将来的に働く人が年々確実に減少して行きます、例えば9月に契約すると10月から施工開始し2月まで5か月の施行期間となり、冬季間は4か月含まれております。 ご検討が必要なことは、この施行期間を10ヵ月確保する(4月契約5月施行開始)する方法にできないのでしょうか。少し極端ですが7月施行開始なら3か月の期間を多く確保できます。 いろいろと課題はあるとは思いますが人手不足に対応していくやり方を提言したいです。これは防災に限った話ではなく日本の社会全体の課題で必ず通ることになります。	土木部
	5 安心・快適な都市環境・生活環境を作ります	5－①	谷本 真佑構成員 (都市環境・生活環境)	資料2 P13	【取組実績】5③イ 自転車通行空間を確保し、歩行空間との分離 盛岡市内では自転車通行帯の明示が進んでいる実感がある。しかし、明示されている自転車通行帯ではなく、歩道を通行する自転車も未だに散見される。 取組実績に「イ 自転車通行空間を確保し、歩行空間との分離」とあり、それを実現するハード整備には異論はない。しかし、ハード整備が歩行空間の分離に繋がっていないケースもあるように思える。 歩行空間との分離を実現するためには、ハード以外の対策も求められるものと考えられるが、担当部署はどこになるか。また、その担当部署と連携した活動は考えられるか。	土木部
		5－②	谷本 真佑構成員 (都市環境・生活環境)	資料3 P4	【地域振興プラン】5③安全・安心な歩行空間及び自転車通行空間の確保 現状・課題欄の「登下校中に児童生徒が事故に巻き込まれる事案が後を立たず、早急な対策が必要」と、令和6年度の具体的な事業内容「4 自転車通行空間の整備の確保」には、どのような繋がりがあるのか、ご教示いただきたい。 歩道整備については、歩道と自動車の空間を分離することで歩行者の安全確保に繋がると理解できる。自転車通行空間の確保は、「自転車から歩行者を守る」のか、「自動車から自転車を守る」のか、どちらを目指しているのか。 また、現状・課題欄にあるような事故に、自転車が関係する事故が何件ほど含まれるか。	土木部

振興施策の 基本方向	重点施策 項目	整理 番号	構成員氏名 (主な担当分野)	該当 資料	御意見・御提言	回答担当
Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	6 産学官金連携によるIT産業の育成やものづくり産業の振興に取り組めます	6－①	三井 康平構成員 (IT産業・ものづくり)	－	圏内企業の人材確保に向けた取り組みはもちろん重要で行うべきだが、少子化等も含めて「それでも人材はどんどん確保できなくなっていく」という視点に立ち、人材が確保できない状況でも事業継続できるような改善や構造転換を進めていくべき。	経営企画部
		6－②	三井 康平構成員 (IT産業・ものづくり)	資料2 全般	それぞれの取り組みとその実績について、関係者にアンケート等取っていると思うが、その内容にも興味がある（定量的なものだけでなく、数値に表れにくい感覚的な実績もあるのでは、と考えている）	経営企画部
		6－③	三井 康平構成員 (IT産業・ものづくり)	資料2 P15	【指標】「セミナー等の実施により県内IT・ものづくり企業への就職意識が高まった受講者の割合」「学生等の県内での起業・創業への支援件数」 記載されている達成レベル・目標は、項目（目的）に追随する指標としてよいと考える。 一方で、直接的な指標もあってもよいのではないか。 ・ 取り組みが人材確保・育成に貢献したかを企業側に聞いてみる ・ 県内での起業・創業数	経営企画部
		6－④	三井 康平構成員 (IT産業・ものづくり)	資料2 P15 ～P17	記載されている取り組み、いずれもよいと考える。 「学生等の起業・創業支援」に関しては、年代が近い創業者の話が聞ける機会があるとよいと考える。10代・20代の創業予備軍に対して、40代以上の話よりも20代・30代の起業家の話の方が心に響くのでは。 取り組み実施の効果を継続的にするために、自立・自走できるコミュニティの形成や既存コミュニティへの誘導等があるとよいのでは。	経営企画部
		6－⑤	三井 康平構成員 (IT産業・ものづくり)	資料2 P16 ～P17	【指標】「ビジネスマッチングや企業間連携による取引成約件数及び新規研究開発件数」 本項は達成レベル・目標として掲げられている内容も取り組みもよいと考える。 成果・成功事例を共有し、圏内企業をどんどん巻き込んでいくコミュニティや雰囲気盛り上がりがあるとよいと考える。	経営企画部
		6－⑥	三井 康平構成員 (IT産業・ものづくり)	資料3 P5	【地域振興プラン】6① 地域作業を支える人材の確保・育成、起業・創業の推進 全般的に取り組みはよいと考える。 情報系学部生の就職動向等を伝えるセミナーはとてもよいと思う。	経営企画部
		6－⑦	三井 康平構成員 (IT産業・ものづくり)	資料3 P5	【地域振興プラン】6② IT・ものづくり産業の幅広い産業分野への参入促進 全般的に取り組みはよいと考える。 参入（マッチング）を目的に据えた直接的な交流会も重要と考えるが、もっと緩く、雑談できればいいくらいの、経営者や幹部同士の異業種交流会があるとよい。人間として信頼できるかどうかかわかると、話は勝手に進んでいく。軽食・飲み会・会食・ゴルフなど、ざっくばらんな場からビジネスが始まることが多い。	経営企画部

振興施策の 基本方向	重点施策 項目	整理 番号	構成員氏名 (主な担当分野)	該当 資料	御意見・御提言	回答担当
Ⅱ ⅠⅠ産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	7 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します	7－①	工藤 嘉充構成員 (農業)	－	<p>以前から気になっていたのですが、観光分野にスキー場をはじめ「雪」に関しての事がないように思えます。</p> <p>県央広域には県内のスキー場が集中しており、冬の観光の主なのではないでしょうか。</p> <p>観光庁は雪質の良さをPRし、ニセコ・白馬をはじめ日本の雪を世界の人に楽しんでもらいたいと色々な呼び込みを行っています。</p> <p>実際に外国人観光客は増えてきているが、それに対して働く現場の人だけではなく、そこに住む住民またはスキー場やバックカントリーエリアで楽しむ日本人との間に温度差（日本だけある暗黙のルール、海外にはない）あり、このまま外国人が増えていけば事故や衝突が増えていくでしょう。その地方の地形・気象・行政に合ったローカルルール（エリアマップ等）をいち早く作る必要性があると感じています。</p>	経営企画部
	8 米・園芸・畜産のバランスがとれた農業の持続的発展と活力のある農村づくりを進めます	8－①	工藤 嘉充構成員 (農業)	－	<p>冬の観光業面でも農業面でも問題になっている人手不足について、私の知る限りですが、北海道・青森・山形・新潟の一部では夏の仕事と冬の仕事と2つを持ち、例えば夏農業、冬スキー場勤務で上手く成立っている地域・人達があります。スキー場の人手不足は農家が減ったことが原因の一つだと私は思っています。</p> <p>今の就農や就職の説明・あっせんを聞いていると、とにかく社会保険がないとダメだ、みたいなことをよく聞きますが、一つの会社に勤めていては自分の生きたい生き方ができない人たちがいます。冬をメインに人生設計を立てる人は少なからずいます、そういうひとたちが夏に安心して農業で働ける仕組みを工夫してあげれば（その逆も、夏農業メイン）夏と冬・農業と雪産業で人手不足の解消の一つになるのではないのでしょうか。</p> <p>それができるのは、岩手県内でも県央広域圏の冬に雪が日常にある地域の特色なのではないかと思います。</p>	農政部
		8－②	松ノ木 奈々子構成員 (農業)	資料2 P19	<p>【取組実績】8①イ 女性農業者の経営参画の促進</p> <p>女性農業者の若手ジャンプアップ講座、1回、2回と希望無く中止なんて悲しいことですね。</p> <p>11/21 3回目のお話の依頼を雫石のちゃつとの～む（ちゃつとの～む花の会）で承りました。私たちの活動のお話とアクリルバルーンフラワーのワークショップ（フラワーアレンジメント体験）を予定しています。農家も楽しめることなど受講した方にアピールして来ようと思っています。</p>	農政部
	9 森林資源の循環利用促進ともうかる林業・木材産業の構築を進めます	－			御意見等なし	

振興施策の 基本方向	重点施策 項目	整理 番号	構成員氏名 (主な担当分野)	該当 資料	御意見・御提言	回答担当
Ⅱ ＩＴ産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力ある産業が展開している地域	10 地場産業の特性に応じた産業人材の確保・育成とやりがいを持て働くことができる労働環境の整備を進めます	10－①	三井 康平構成員 (IT産業・ものづくり)	資料 2 P28	<p>【指標】「キャリア教育の実施により、進路選択において地域志向が高まった生徒・学生の割合」</p> <p>「地域指向」とは何かを確認したい。「地元就職」であれば、それがいいかどうかは職種によると考える。どの地域で働いてもご本人のキャリアに大きな差がない業界や、地域の維持にどうしても必要な職種であれば、地元就職に誘導することはよいことだし、必要なことと考える。</p> <p>一方で、先端科学技術に関連する職種等においては、ご本人のキャリアにとって、よくない影響が起こることも考えられる。このようなケースに限らず、全般的に「地域指向」は地元就職を直接的に促すより、地元を学び、地元を知ることによって「地元を愛する心を育てる」ことをゴールにしてもよいと考える。大人から地元への就職を直接的に促されると、若い子たちは白けると思う。ともすれば、そのような誘導をする地域や地元に対してネガティブな印象を持つ人もいるのではないか。地元に住み、地元に貢献している人だけでなく、遠くに住んでいるけど地元を想って愛しながら生き、地元貢献している人にもスポットライトを当ててほしいと考える。</p> <p>記載されている達成レベル・目標は、項目（目的）に追随する指標としてよいと考えるが、上記も踏まえ、地元就職への誘導を業種毎に戦略的に実施すべきと考える。</p>	経営企画部
		10－②	三井 康平構成員 (IT産業・ものづくり)	資料 3 P10	<p>条件が整えば地元就職してもいいが、条件が整わないので他地域に就職する、という人は一定数いると考える。その条件はいくつか考えられると思うが、「そもそもやりたい仕事ができない」とともに、「給与水準が低い」があると考え。給与水準を上げるための施策が重要と考える。</p> <p>【地域振興プラン】10① 若年者等の就業支援と地域産業を支える人材の確保</p> <p>全般的に取り組みはよいと考えるが、業界・産業によって取り組み方針を調整すべきと考える。</p> <p>【地域振興プラン】10② 企業における雇用・労働環境整備の促進</p> <p>全般的に取り組みはよいと考える。</p>	経営企画部
		10－③	工藤 理沙構成員 (食産業)	資料 3 P 7	<p>本年度「てのてん」を開催いただき、参加させていただきましたが、とてもいい機会をいただいたと思います。</p> <p>地道ではあるけれども、直接カスタマーに向けて県内の工芸品をPRできたことは、とても良かったと思います。</p> <p>県外からの観光客も多く、岩手の手仕事の良さをより良く発信できたと思います。</p> <p>【地域振興プラン】 7 (2)① 食品・工芸品製造事業者の事業再構築と人材の育成</p> <p>食品製造事業者支援はもちろんですが、工芸分野もDX推進についても成功事例紹介などセミナーを行っていただけると嬉しいと思います。</p>	経営企画部
	11 産業経済活動を支える交通ネットワークを整えます	—			御意見等なし	

※ いただいたご意見等は、口調を揃えるなど、一部手を加えさせていただいております。